

# 第7章 関係者会議の運営支援

## 章 内 目 次

7. 関係者会議の運営支援.....	7-1
7.1. 会場設営.....	7-2
7.2. 会議録の作成.....	7-2
(1) 社会情勢の変化について.....	7-2
(2) 前回からの検討状況について.....	7-2

## 7. 関係者会議の運営支援

平成 28 年 2 月に設立された「東京外かく環状道路(東名高速～湾岸道路間)計画検討協議会」の開催支援を行った。

本業務で資料作成・運営支援を行った計画検討協議会の開催概要を以下に示す。

表 7-1 計画検討協議会の開催実績

会議名	開催日時／会場	議事
東京外かく環状道路 (東名高速～湾岸道路間) 計画検討協議会(第 6 回)	令和 5 年 2 月 1 日(水) 14:00～15:00 ／中央合同庁舎 2 号館 低層棟共用会議室 3A・3B	1. 計画検討協議会の振り返り 2. 社会情勢の変化 3. 前回からの検討状況 4. 今後の進め方

### 7.1. 会場設営

開催にあたり、会場設営を補助した。実施した主な内容を以下に示す。

- 会場の机及び椅子の設置
- 飛沫防止パーテーションの設置
- 資料の事前配布
- ネームプレート設置
- マイク準備

### 7.2. 会議録の作成

本会議の記録を作成した。会議録は、以下の通りである。

#### (1) 社会情勢の変化について

○事務局より、社会情勢の変化について報告がなされ、計画の具体化にあたっての主な意見として、以下を共有した。

- ・コロナ禍の交通情勢を踏まえ、東名高速～湾岸道路間については、首都圏の渋滞対策や羽田空港、京浜港へのアクセス強化などの観点から、早期整備の必要性が高く、速やかに計画を具体化するべき。
- ・計画の具体化にあたっては、引き続き、社会情勢の変化を把握しながら、透明性の高いプロセスの中で検討を進めていくこと。
- ・地域への影響が小さくなるよう配慮するべき。

#### (2) 前回からの検討状況について

- これまでの検討に加え、社会情勢の変化に対応できるよう、周辺地域の交通状況の変化等を考慮しながら、計画の基本的な方針の取りまとめに必要な検討を進めることを確認した。
- 引き続き、川崎縦貫道路の計画と一本化する場合について、整備効果や起終点、連結位置、費用負担の考え方などを、検討することを確認した。
- これらの検討を基に、計画の基本的な方針の取りまとめに向けて意見交換することを確認した。